

# 広域交通ネットワークの形成に関する調査

## (1) 東京湾アクアラインと千葉・神奈川観光交通アクションプラン

### 1 調査の目的

近年、観光地の整備促進に対応して、公共交通機関のソフト・ハード両面の利便性を向上させることにより、公共交通機関活用による観光需要増加を通じた地域振興が注目されている。

本調査は、神奈川県と千葉県を調査対象として、両県を連絡する東京湾横断道(アクアライン)を基軸に、地域が個性を発揮し、相互に補完・連携しながら総体として発展していくうえで必要となる広域交通ネットワークの形成に関する課題を整理・検討するとともに、観光を中心とした地域間交流と公共交通機関の利用促進・活性化及び地域振興のための諸施策(アクションプラン)について提言を行ったものである。

### 2 アクションプラン検討枠組みの設定

千葉・神奈川両県をカバーする広域観光エリアの開発を意図する、観光ルート、旅行プラン、公共交通チケット制度、観光キャンペーン、情報提供等の各観点から、地域振興を図るうえでの現状分析を行い、課題の整理を行った。

また、現状分析結果を踏まえ、アクションプランにおける観光需要の対象として、「千葉・神奈川両県民の観光レクリエーション需要を相互に吸収する(目標A)」と「千葉・神奈川両県を周遊する国内観光需要を誘致する(目標B)」を設定するとともに、検討項目の整理を行った。

### 3 アクションプラン及びプロジェクトプランの提案

アクションプランの検討にあたっては、短期的に実現可能と思われること、千葉・神奈川間の地域交流を促進すること、公共交通機関を活用すること、既に実施されているプ

ランと重複しないこと等に留意しつつ、検討枠組みに従い、各目標客層毎に検討を行った。目標Aについては、「グルメや企業博物館等の地域資源を活用した旅行プランの策定」等の15項目、また目標Bについては、「千葉・神奈川広域観光ルートとテーマの設定策」等の5項目、更に目標A・Bの共通策として「公的な資金補助等による民間リスク軽減のための多様な支援策」等の2項目について提案を行った。

また、提案したアクションプランの各項目は、それぞれ単独の施策として活用可能であるが、個々の関連するプランを組み合わせることで、より有益なものとなり得ることから、例えば、既存高速バス路線の発着地と観光地とを結ぶバス路線を新設し、高速バスの時刻とリンクさせたダイヤを設定するとともに乗継ぎ割引制度を導入する等、いくつかの関連するアクションプランを組み合わせた具体的なプロジェクト6施策について提案を行った。

### 4 アクションプラン実現に向けた課題

本調査において提案した各種のアクションプラン及びプロジェクトを実現するためには、様々な課題が多く、今後は、交通事業者、観光事業者、行政機関などがそれぞれの立場から課題の克服に努めるとともに、相互の協力体制を構築しながらアクションプランの実現に向けて努力する必要がある。当面の課題として、アクションプランに盛り込まれたアイデアなどを広く活用してもらうために、アクションプランの検討結果を公表し、資料を提供すること、関係者の合意形成、推進体制の構築などアクションプラン実現に向けた継続的な取り組みを実施すること、アクションプランの実現に当たっては、個別主体だけの取り組みによらず、交通関連事業者・観光関連事業者・行政機関などの相互の連携によってアクションプランに関わる課題を解決することが必要である。

(要約:調査室 調査役 筑田清貴)